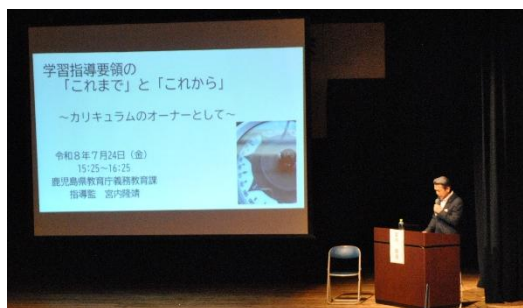


令和8年度第2回北薩地区小・中・義務教育学校校長研修会

令和8年7月24日（金）

1 目的	県及び地区教育行政の重点施策及び努力事項等について理解を深めるとともに、学校経営上の課題を協議し、その解決に資する。	
2 会場	マルマエ音楽ホール出水等（出水市）	
3 出席者	各小・中・義務教育学校校長 各市町教育委員会教育長、学校教育課長、指導主事 等	
4 内容	(1) 開会の挨拶及び所長講話 所長 (2) 教育事務所の重点施策等説明 ア 総務課 総務課長 イ 管理課 管理課長 ウ 指導課 事前にオンデマンド配信 <昼食・休憩> (3) 事例発表 出水市立野田中学校 見矢 憲彦 校長	(4) 分科会 ア 深化の時間「学力向上のための校長としての取組」 イ 学校経営に関する情報交換の時間 (5) まとめと指導 指導課長 (6) 講演「学習指導要領、『これまで』と『これから』 ～カリキュラムのオーナーとして～」 県教育庁義務教育課指導監 (7) 閉会の挨拶 阿久根市教育委員会教育長

5 様子



講演
県教育庁義務教育課 宮内 隆靖 指導監



事例発表
出水市立野田中学校 見矢 憲彦 校長



深化の時間
「学力向上のための校長としての取組」



閉会の挨拶
阿久根市教育委員会 中野 正弘 教育長

6 感想・意見

- ・ 学力向上に向けては、校長として結果に責任をもち、各種学力調査の結果を丁寧に分析するとともに、過去問題や MEXCBT 等への計画的な取組と、その状況の見届けを確実に行うことの重要性を改めて感じた。教職員と目標や課題を共有し、全校体制で粘り強く取り組んでいきたい。
- ・ 学習者主体の授業づくりを進めるためには、校長が日常的に授業を参観し、子供の学びの姿を見取りながら、教職員への具体的なフィードバックや価値付けを行うことが大切だと感じた。相互授業参観や校内研修等も生かしながら、「子供が分かった、できた」と実感できる授業への改善を進めていきたい。
- ・ 講演を通して、学習指導要領のこれまでの変遷と次期改訂の方向性について理解を深めることができた。社会や教育を取り巻く変化を見据え、自校の強みや課題を明確にしなが、校長が教育課程編成の中心となり、教頭や教務主任等と共通理解を図って、今から準備を進めていきたい。
- ・ 「深化の時間」では、他校の校長先生方と学力向上や授業改善、職員育成等について具体的な取組や課題を共有することができた。他校の実践から自校に生かせるヒントを得るとともに、自校の取組を改めて見つめ直し、2学期から実行する具体的な一手を考える有意義な時間となった。
- ・ 研修全体を通して、校長には明確なビジョンを示すとともに、職員との対話を重ね、一人一人のよさや力を引き出しなが組織を動かしていくことが求められていると改めて感じた。子供の未来に責任をもち、教職員を支える伴走者として、教頭等と連携しながら学校経営を着実に前へ進めていきたい。